

(様式 3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	三重県	市町村名	桑名市	大学名	
派遣日	令和 6 年 8 月 28 日(水曜日) 13:00~16:00 【研修の日程】 13:00 講師到着 13:30~ 学校長挨拶 講師紹介 13:40~ 講義 15:05~ 質疑 15:15~ グループ討議 15:30~ 全体交流 15:45~ 講評 16:00 終了				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 <u>派遣</u> / 遠隔				
派遣場所	桑名市立光陵中学校				
アドバイザー氏名	元豊橋市教育員会 外国人児童生徒教育相談員 築樋 博子 先生				
相談者	主催 桑名市教育委員会事務局 人権教育課 出席者 桑名市立光陵中学校 教員 桑名市内小中学校 担任及び国際担当教員				
相談内容	桑名市では、小学校中学校のそれぞれ1校を、外国人児童生徒教育の拠点校と位置づけ、取り組みを進めている。派遣場所となった光陵中学校は、拠点校として、昨年度「国際化対応教育委員会」を立ち上げ、体制を整えつつある。委員会を立ち上げるまでは、国際担当教員が国際教室での取り出し指導中心の支援を行ってきたため、在籍学級で授業を受ける外国につながる生徒は少なかった。昨年度からは、本来の在籍学級で授業を受けるための日本語の力をつけるというJSLカリキュラムに基づいた支援を進めているが、「在籍学級でどのように支援をすればよいか」「どのように授業を進めていったらよいか」という戸惑いの声が聞かれるようになった。中学校の拠点校としての取組等を、桑名市内中学校に情報発信していくためにも、まずは光陵中学校全教員が共通認識を持って支援や実践を進めていくことを目指し、アドバイザー派遣の申請を行った。				
派遣者からの指導助言内容	【講義内容】 外国人児童生徒等教育の課題と支援～子どもたちの明るい未来のために～ 1. 日本語教育における基礎知識 日本語教育における基礎用語や「特別の教育課程」「個別の指導計画」など、国際担当がどのような書類を作成しているか説明していただいた。 2. 受け入れの際の留意点 学校で受け入れ手続きを行う際の注意事項や、国によって、学年ごとの学習内容、コロナ禍での修了認定の難易度に差があること等、現状についてのお話があった。 3. 初期日本語指導について 来日した生徒がどのような課程で初期指導を受けていくのか、生活言語だけでは在籍				

	学級の学習への参加が難しいことを説明していただいた。また、日本語の力をどのように判断するのか、DLA の活用例などを用いて示していただいた。 4. 在籍学級での支援について リライト教材や授業のユニバーサルデザイン化について紹介いただき、このような支援は外国につながる生徒だけでなく、すべての子どもたちへの授業支援につながるというお話があった。 5. 豊橋市における進路状況について 愛知県における外国人生徒特別枠の試験制度や、生徒の進学状況について教えていただいた。
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	【光陵中学校】 築樋先生のご講義の後、教科グループに分かれて話し合いを行った。その後の全体交流の中で以下のような意見が共有された。 ・指示を出す際には、短く、わかりやすい日本語を使うということを心がけたい。 ・グループ活動では、周りの子どもを育てることも考えたい。 ・授業に積極的に参加できるよう、情意支援を行う。 ・定期テストの問題文の言い回しについても配慮し、読み取りのための支援も行っていきたい。 ・ICT を活用し、視覚支援をしていきたい。 ・日本語指導が必要な生徒の受け入れには、想像を超える綿密な計画と段階を経ていることを知った。周囲の協力と連携が絶対に欠かせないとわかった。 ・補足したり言い換えたりすることは必要だと思うが、学習用語の定着を図ることも必要だとわかった。 ・外国につながる生徒に目を向けるだけでなく、それ以外の生徒が関われる力や、伝える力をつけていくことも大切なことだと感じた。 国際担当教員だけでなく、学校全体で外国につながる子どもたちへの対応や支援について考えるきっかけになったように思う。今回教えていただいたことを2学期以降の実践に取り入れ、学校全体で取り組む体制をさらに構築したい。 【桑名市教育委員会】 桑名市としても、在籍学級での指導支援や一人ひとりの日本語力の判断資料、学力・進路保障等、これまで積み上げてきた取組がある。外国人児童生徒の受け入れが年々増加している中で、それらの取組をあらためて見直し、子どもたちの状況や学校の課題に応じてブラッシュアップしていく必要があることを再認識できた。今回ご教示いただいたことを参考にし、各校での受け入れ体制や日本語指導がさらに充実するよう、学校のニーズに合わせた情報発信等、取組を進めていきたい。

1 枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。